

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称 RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成 12 年 9 月に設立され、平成 30 年 2 月現在 100 団体によって構成されています。

今回も直近の活動と今年度の取組予定についてご紹介します。

【第 17 回川に学ぶ体験活動全国大会 in 北九州】

今回の全国大会には、15 年前にも開催実績のある北九州市及び紫川で、「川の力、川の魅力を知る（公害の街から蘇った紫川を体験）」をテーマに、地元の方や全国各地から約 300 名の方々が参加されました。

1 日目の基調講演では、川の生き物の暮らしと洪水対策の調和を考えた川づくりに長年取り組まれてこられた安田陽一教授より、既存のコンクリート堰堤へ後付で伝統技術の石組み魚道実践事例等の成果についてご講演頂きました。また、併せて、分科会でもこの全国大会の準備と並行して紫川で施工した魚道の見学も行われました。全国活動事例紹介では、地元の小学校や高校等から 5 団体の発表があり、学校内の活動として定着されている川をテーマとした学習等の組み事例の発表がありました。愛媛県鞆瀬川からは身体障害の方の川の流れ体験支援のほか、東日本大震災後に石巻で毎年実施している「川遊びキャンプ」「子どもの居場所」等、3 団体からの事例を共有しました。



2 日目の分科会では、防災やまちづくり、E ボート体験、石組みの 4 つのテーマに分かれ、パネルディスカッションでそれぞれの分科会の成果を元に議論を深めました。また、全国大会の大きな楽しみの一つとなっているエクスカッションでは、地域の方々の長年の努力によって再生された紫川を SUP や E ボート、カヤック等で大いに満喫させて頂きました。

来年度の全国大会は、茨城県取手市において 10 月 13 日（土）・14 日（日）にて、小貝川・利根川等を舞台に「川の教育力」をテーマに開催の予定です。

【河川工事関係者向け安全講座の開催について】

RAC では数年前から河川工事関係者向けの講座を開催してきましたが、今年度も信濃川下流で 11 月に事業者向けの講習会を開催しました。リスクマネジメント等に関するワークショップのほか、ドライスーツを着用してスローロープ救助実習や、救助艇として流域市町村に配置されている E ボートの組み立て及び操船訓練等も行いました。

河川関係の業務中にも、水辺には思わぬところに危険が潜んでいます。事故ゼロに向けて、このような講座を定期的実施し、川の危険箇所の確認や装備、天候判断等に関して再確認を頂ければ幸いです。



《NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会》
東京都北区田端 1-11-1 勘五郎ビル 104
TEL.03-5832-9841 FAX.03-6893-2642
<http://www.rac.gr.jp>